

UVインキ

UV ロータリースクリーン シリーズ

「UV ロータリースクリーン シリーズ」は、ロータリースクリーン印刷機用に開発した紙、処理PET、処理OPP、塩ビフィルム用の紫外線硬化型インキです。

■ 特徴

- ▶ 優れた紫外線硬化性。
- ▶ 高グロス性。
- ▶ 非常に柔軟な塗膜。
- ▶ 優れた印刷適性。
- ▶ 優れた耐薬品性。

■ 基準色および耐性

品名	耐光性		耐熱性	耐溶剤性
	濃色	淡色		
UV ロータリースクリーン 11 黄	6~7	5~6	5	5
UV ロータリースクリーン 21 紅	5~6	3~4	5	5
UV ロータリースクリーン 31 藍	8	7	5	5
UV ロータリースクリーン 43 墨	7~8	7	5	5
UV ロータリースクリーン 耐性 黄	8	7	5	5
UV ロータリースクリーン 耐性 ピンク	8	7	5	5
UV ロータリースクリーン 耐性 金赤	6~7	5~6	5	5
UV ロータリースクリーン 耐性 紫	7~8	7	5	5
UV ロータリースクリーン グリーン	8	7~8	5	5
UV ロータリースクリーン メジウム	8	—	5	5
UV ロータリースクリーン 白	8	7	5	5

評価：耐光性 8(優)⇔1(劣)、その他：5(優)⇔1(劣)

〈試験方法〉

耐光性……印刷物をフェードメーターにて照射試験し、暴露時間と変褪色の程度により強度を8段階に分級。

希釈しない濃色とメジウムで5倍に希釈した淡色を試験する。

耐熱性……印刷物を150°Cの熱風循環式乾燥機中で10分間加熱し、変褪色の程度により強度を5段階に分級。

耐溶剤性……印刷物をトルエンとアセトンの1:1混合液に20~25°Cで24時間浸し、変褪色の程度および混合液へのブリードの程度により強度を5段階に分級。

- ▶ 記載のデータは、当社の試験方法による実測値であり、規格値ではありません。ご使用に際しては、貴社使用条件に適合するかを必ずご確認願います。なお、本文中の用途はいかなる特許に抵触しないことを保証するものではありません。
- ▶ 製品改良のため、予告なく内容を変更することがあります。
- ▶ 製品使用の際は、必ず事前に安全データシート(SDS)をご一読願います。

■ 使用上の注意

- ▶ 消泡剤等添加剤が分離している場合がありますので、印刷前にインキをよく攪拌してください。
版は一般的に300～420メッシュのモノフィラメントスクリーン版が使用されます。本インキシリーズは希釈なしで印刷可能ですが、季節、機種、印刷スピードにより適時UVスクリーンレジウサーAにて5%以内で希釈してください。スキージーはUV用硬度70以上のものをご使用下さい。
- ▶ 標準的なUV照射条件は330メッシュスクリーン使用で120w/cmメタルハライドランプ2灯、ラインスピード30m/min、ランプ高さ13cmです。ただしインキの色調、下地の色、原反の種類によって硬化性が変化しますので注意が必要です。
- ▶ 被印刷物へのインキの密着性は、その素材や表面の状態により異なります。あらかじめ密着性の確認をしてください。
- ▶ 非吸収原反へ印刷した印刷物が屋外もしくは水（結露を含む）のかかる環境に置かれた場合、接着力が低下して爪などによって簡単に剥がれることがありますので、ご確認願います。
- ▶ その他の最終製品の使用条件における適応性の試験を必ず行ってください。
- ▶ 直射日光に曝さないで下さい。冷暗所（30℃以下）で保存してください。
- ▶ 人体に影響のないように考慮して設計されております、皮膚、衣類等にインキが付着したまま長時間放置いたしますと、人によってカブレを生じる場合があります。作業時の保護具の着用、作業後の手洗い等ご配慮下さい。ご使用に際しては、『安全データシート(SDS)』を参照願います。
- ▶ 条件により平台のスクリーン印刷にも使用可能です。



2022/02/01 No.W-2

- ▶ 記載のデータは、当社の試験方法による実測値であり、規格値ではありません。ご使用に際しては、貴社使用条件に適合するかを必ずご確認願います。なお、本文中の用途はいかなる特許に抵触しないことを保証するものではありません。
- ▶ 製品改良のため、予告なく内容を変更することがあります。
- ▶ 製品使用の際は、必ず事前に安全データシート(SDS)をご一読願います。